

論文 / 著書情報
Article / Book Information

論題	大学経営に資するオープンデータの活用事例
著者	小野寺 理香, 大石 哲也, 森 雅生
出典	CITLシンポジウム
発行日	2017, 10

米国大学の男女別教員数と教員給与状況

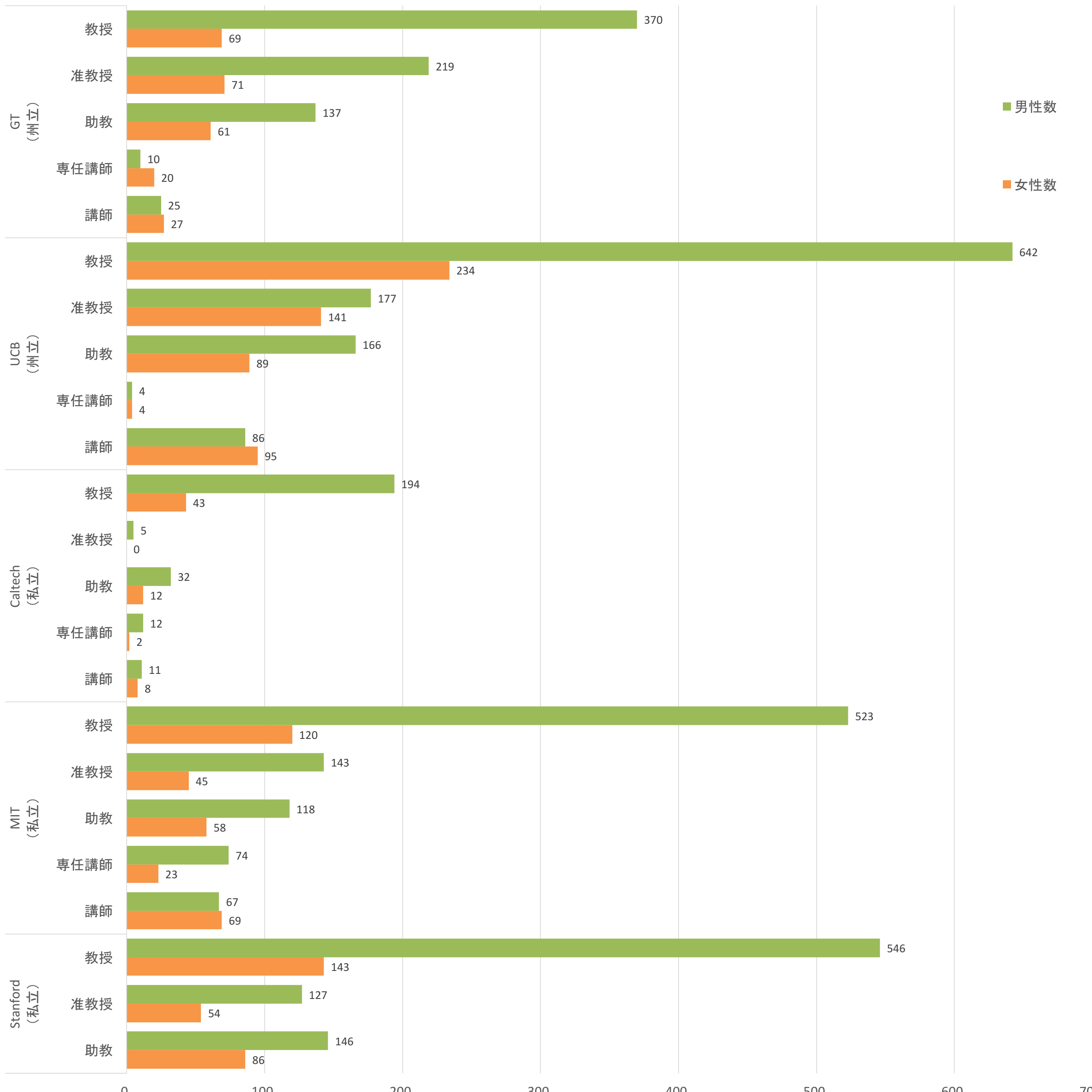
男女別教員数の比較

全教員の男女比

- ・UCBが約**2:1**
- ・GT・MIT・Stanfordが約**3:1**
- ・Caltechが約**4:1**

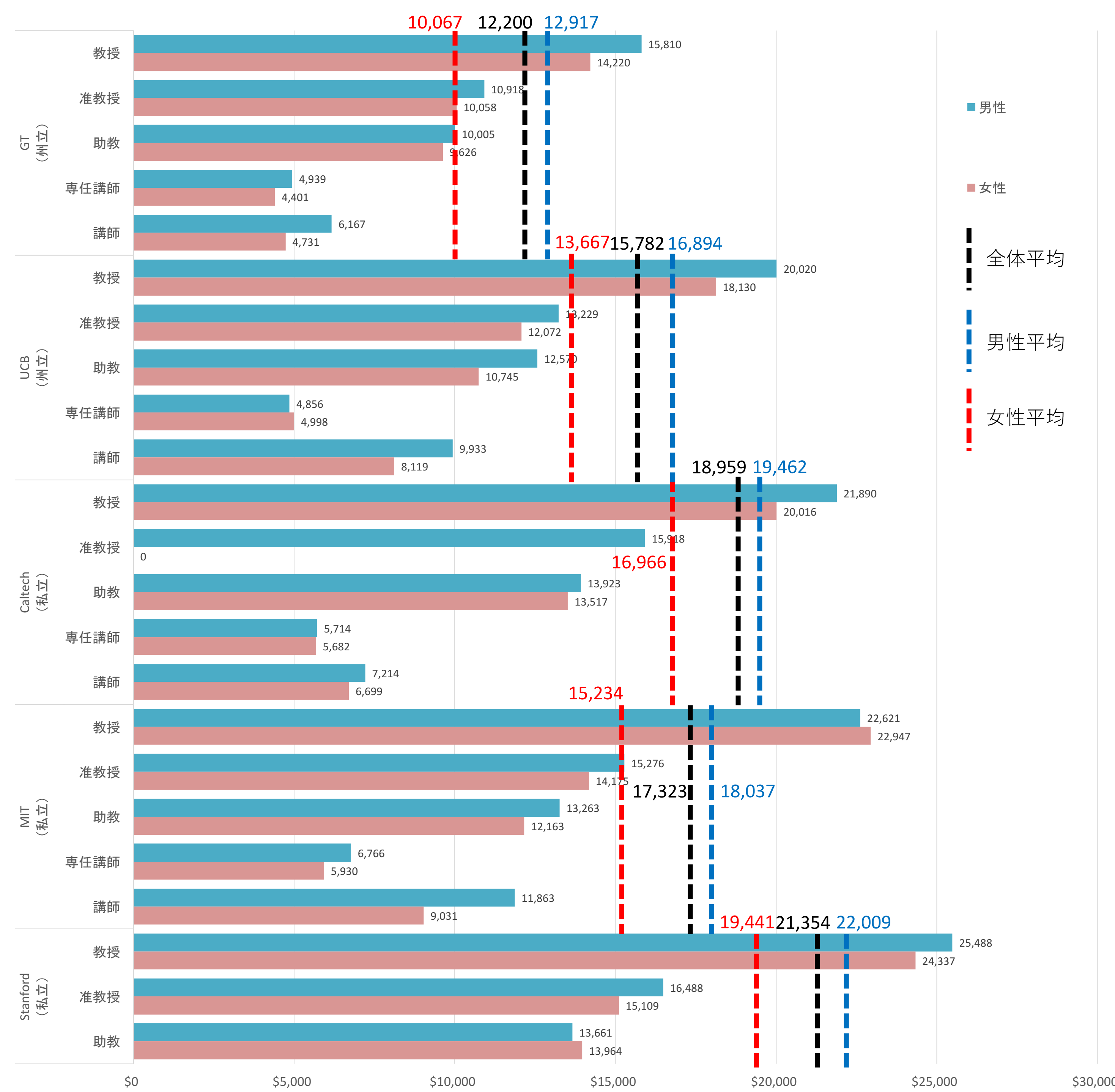
5校の平均男女比

- ・全教員で**3:1**
- ・教授職で**4:1**



大学別教員給与（加重平均月給）の比較

- ・給与は州立大学よりも**私立大学の方が概ね高額**
- ・ただし**州立の方が高い場合もある**（CaltechとUCBの講師職）



【出典】IPEDSデータサイト (The Integrated Postsecondary Education Data System, IPEDS)

期間 2015年から2016年

対象校

- ・ジョージア工科大学[GT,州立]
- ・カリフォルニア州立大学バークレー校[UCB,州立]
- ・カリフォルニア工科大学[Caltech,私立]
- ・マサチューセッツ工科大学[MIT,私立]
- ・スタンフォード大学[私立]

大学経営に資するオープンデータの活用事例

東京工業大学情報活用IR室

小野寺理香

大石哲也

森雅生

留学生数の推移

日本の外国人留学生数の推移と推測

留学生数の推移

- ・2011年度にかけて留学生数が**増加**
- ・震災後、一旦、留学生数が**減少**
- ・2013年度以降、再び留学生数が**増加**

留学生30万人計画（2020年までに）

- ・**2023年度に達成**（日本語教育機関を含めない場合）
- ※2011年度以降留学生数に日本語教育機関が追加

SGU採択大学における留学生数の状況

- ・36,545人（2013年度）→73,501人（2023年度）
- ・留学生数全体も増えているので**目標達成**できそう？

高等教育機関における出身国別留学生受け入れ数の推移

（日本語教育機関を除く留学生の出身国）

高等教育機関の留学生数の推移

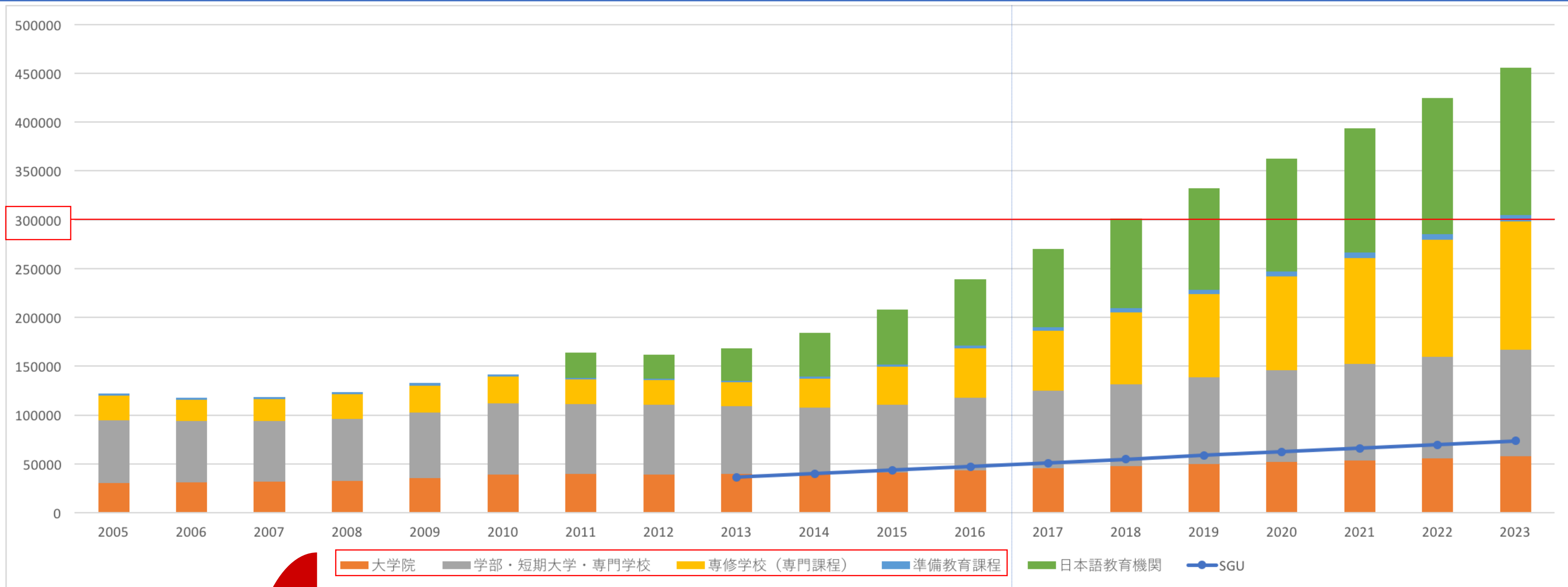
- ・2010年度にかけて留学生数が**増加**
- ・震災以降、留学生数が**減少**
- ・2015年度以降、再び留学生数が**増加**

国別の2016年度までの傾向

- ・中国と韓国が**減少傾向**
- ・ベトナムとネパールが**増加傾向**

SGU採択大学における留学生数の状況

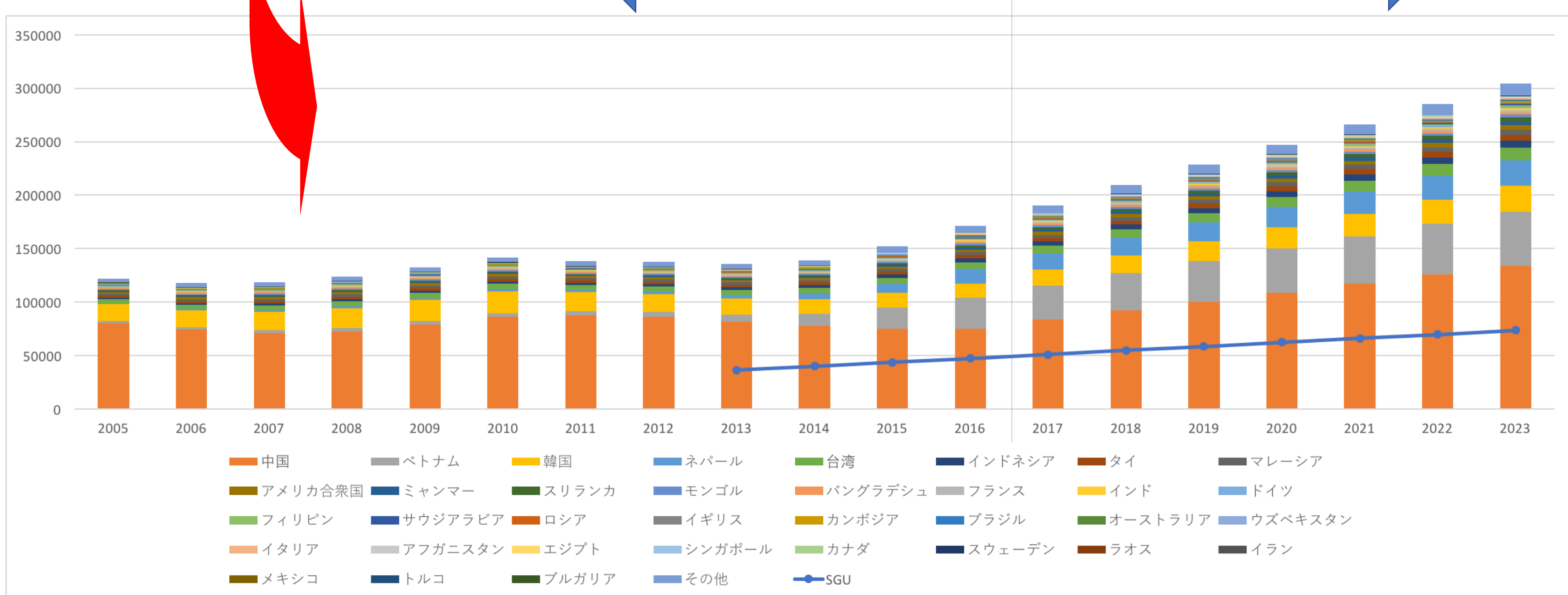
- ・優秀な留学生の**奪い合い**
- ・**達成できない**大学もあるかも



出身国ごとに分割

実測値
(2016年以前)

推測値
(2017年以降)



【出典1】外国人留学生在籍状況調査結果（日本学生支援機構）

- ・2005年から2016年までの調査結果
- ・2017年以降は過去の増加量からの推測値

【出典2】スーパーグローバル大学創生支援事業調査（採択された全ての大学）

- ・調査に記載されている実測値と目標値
- ・調査にない値は推測値